

家園

字体作者：周慧琚

第31号



特定非営利活動法人

中国帰国者・日中友好の会

〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7

ペガサスミシンビル 1 階

TEL：03-3835-9357 FAX：03-3835-9358

<http://jc-yuko.com/>



チャイナフェスティバル 2023 にて

目 次

★ 写真（日中平和友好条約締結 45 周年特集）	2
★ 「日中平和友好条約 45 周年記念」にて呉江浩大使のメッセージ	3
★ 深秋有盛会・同心願平和	4
★ 寄付者ご芳名録	5
★ 太極拳を始めて	6
★ 2023 年第 15 回香港国際武術大会	7
★ 活動記録・お知らせ・編集後記	

活動記録写真
(日中平和友好条約締結45周年記念特集)



日中協会会長・元自治大臣 野田毅様



公明党常任顧問・元国土交通大臣 大田昭宏様



公明党参議院会長 西田実仁 様



公明党幹事長 衆議院議員 石井啓一 様



東京都議会公明党幹事長代理 中山信行 様



左から米倉洋子先生、小野寺利孝先生、安原幸彦先生

お祝いのメッセージ

中華人民共和国駐日本国大使 吳江浩

尊敬する野田毅会長 石井啓一先生、西田実仁先生
中国帰国者の皆様ご来賓の皆様、友人の皆様

本日、中国帰国者・日中友好の会ご主催の中日平和友好条約締結 45 周年記念イベントの開催にあたり、中国駐日本国大使館を代表し、ながきにわたり中日平和友好事業に携わって来られた中国帰国者の皆様や各界友人の皆様に、心より敬意を表したいと思います。

日本軍国主義者が発動した侵略戦争は、中国人民に大きな災難を齎しただけでなく、日本国民もその被害を大きく蒙っていました。日本が敗戦した後、中国に残された数多くの孤児が心優しい中国人養父母に引き取られ、育てられました。そのうち多くの方が後に日本に戻りましたが、彼らは中国人養父母と中国人民の恩を片時も忘れず、中国を第二の故郷とし、積極的に中日民間友好事業に身を投じ、自分自身の特別な経験を活かし、両国民の心を通わせる橋を作りました。

今年は中日平和友好条約締結 45 周年に当たります。45 年前、両国政府は条約という形で平和と友好を双方共通の目標と義務と位置づけ、永久不再戦と子々孫々まで友好していくという両国民の確固たる信念を表明しました。戦禍の歳月が遠ざかりつつある今日においても、歴史の教訓を永遠に銘記しなくてはなりません。双方は歴史を鑑とし、未来志向で、

条約締結 45 周年をきっかけに、平和友好の初心を温め、条約に定められた義務の履行を重視し、侵略戦争を歪曲・否認、ないし美化するいかなる逆流に断固として反対し、再び戦争を発動することを許せず、中日関係を平和、友好、協力という正しい方向に沿って安定かつ長期的に発展させていかなければなりません。

我々は中国帰国者の皆様や正義感を持つ日本各界の方々と共に、歴史の真相を伝え、公理と正義を守り、民間交流を深め、中日両国の恒久平和と世代友好の美しい未来を切り開き、新しい時代にふさわしい中日関係の構築を推進するために、絶え間なく努力していきたいと思っています。

尊敬的野田毅会长石井启一先生、西田实仁先生各位归国者代表各位来宾、各位朋友

值此中国归国者日中友好之会举办纪念中日和平友好条约缔结 45 周年活动之际，我谨代表中国驻日本大使馆，向长期以来致力于中日和平友好事业的归国者代表和各界友人致以诚挚问候和由衷敬意。

日本军国主义者发动的侵略战争，给中国人民带来深重灾难，日本民众也深受其害。日本战败投降后，大量残留孤儿被善良的中国养父母收留并抚养成。他们之中很多人后来回到日本，但念念不忘中国养父母和中国人民的恩情，将中国视为第二故乡，积极投身民间友好事业，以自身的特殊经历架设起中日民心相通的桥梁。

今年是中日和平友好上约缔结 45 周年。



代読者中国大使館政治部 一等書記官 岑松 様

45 年前、两国以缔约的形式将和平与友好确定为双方的共同目标和义务，表达了两国人民永不再战、世代友好的坚定信念。战争岁月逐渐

远去，但历史教训应当永远铭记。双方要以史为鉴、面向未来，以纪念缔约 45 周年为契机，重温和平友好初心，重视履行条约义务，坚决反对任何歪曲、否认甚至美化侵略战争的倒行逆施，绝不允许重蹈战争覆辙，确保中日关系沿着和平、友好、合作的正确方向行稳致远。我们愿同中国归国者和日本各界正义人士一道，传递历史真相，守护公理正义，深化民间交流，为开创中日持久和平和世代友好的美好前景、推动构建契合新时代要求的中日关系而不懈努力！

寄付者ご芳名録

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会へのご協力、心より御礼申し上げます。

ご寄付いただきました方々への感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。

■お名前は五十音順で掲載しております。(敬称略)

■お名前の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

■ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がございましたら、誠に恐縮ではございますが、弊会事務局までご連絡ください。

2021 年度 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)		2022 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)	
ご芳名	金額	ご芳名	金額
「中国残留孤児」国家 賠償訴訟弁護団	840,000	伊東章 遺贈手続執行人 伊東敏	30,000,000
早坂毅	200,000	井上智治	200,000
福田千代子遺言執行者 弁護士 河合弘之	15,387,039	「中国残留孤児」 国家賠償訴訟弁護団	490,000
(財団法人) 中国残留孤児援護基金	100,000	早坂毅	200,000
その他、非公表希望の方より計 80,502 円 のご寄付をいただきました。		その他、非公表希望の方より計 16 万円のご 寄付をいただきました。	

这一年，相信你有许多温暖和快乐的时刻，也遇到过困难和坎坷。或许你已经战胜了困难，又或许你仍然在应对挑战，但谢谢你，这一年始终奋勇向前。谢谢那个不断积蓄力量、迎难而上的自己，谢谢那个全力奔跑、越挫越勇的自己。

愿：新年胜旧年；将来胜过往！

愿：所有的努力都伴随收获；所有的灾难都被克服；所有的战争都会终结。

----与努力的你共勉

晩秋の盛会 平和を願う心は一つ

文：白山明德 翻訳：祖父江安紀子

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会は、「日中平和友好条約締結45周年」を記念して、帰国者ら共通の不変の願いである日中両国の相互理解と友好のため、イベント活動を行った。

8月から早くも理事会では計画と準備を開始し、会員たちは大きな情熱をもってそれに応えた。同時期事務局は、友好団体や支援者らへの招待状を発送した。9月、舞踏教室、音楽教室、楽器教室、太極拳教室では先生の指導の下、演目の練習に努めた。10月にはプログラムと役割分担が確定した。

秋も深まった11月1日午前、北区王子の北とびあの13階ホールは整然とレイアウトされ、理事たちはそれぞれの責任を果たし、若い二世たちは進んで協力しながら作業を行い、出演者たちは各々衣装に着替えスタンバイした。会場の最前列には目にも鮮やかな3つのフラワースタンドが並べられた。これらは、創価学会長谷川重夫理事長、株式会社一笑苑佐々木弘志社長、日本方正総会三本麗波常務会長より贈られたもので、盛大で厳かな雰囲気添えるものであった。

午後1時、いよいよ第1部が始まった。我々は心より350名余りの友人や来賓を迎えた。最初に来賓が紹介された。中国駐日大使館岑松一等書記官、日中協会野田毅会長、公明党参議院西田実仁幹事長、公明党太田昭宏常任顧問、また、本会理事を務める小野寺利孝弁護士、安原幸彦弁護士、米倉洋子弁護士、宮腰直子弁護士らが出席してくださった。

まず本会の池田澄江理事長より来賓各位への感謝、同朋友人らへの挨拶を述べた。国際情勢の変化や3年にわたる新型コロナの影響、厳しい現実について述べ、日中両国の平和友好の重要性を痛感し、同時に残留孤児として帰国した後の生活状況を振り返った。大勢の国会議員が支持をしてくださったこと、大勢の国家賠償訴訟原告団の弁護をして下さった弁護士の先生の相互協力に、衷心からの感謝の言葉を伝えた。また同時に、大勢の日本の国民の皆さんが心を寄せて下さった事、有識者の方々の多方面に及ぶ激励にも感謝を述べた。

中国駐日大使館一等書記官の岑松先生は、呉江浩大使の心のこもったメッセージを伝えた。中日関係と平和友好の発展に寄与することは両国の根本的利益を守るための重要な選択であり、両国が平和と友好関係を維持し、たゆまぬ努力をすることを希望すると述べた。

会の中で野田毅先生をはじめとする来賓が繰り返し発言したことは、日中関係の正常化と日中平和友好条約締結の過程を振り返り、その歴史的重要性に共感するというものであった。帰国者たちは今回の活動を通じて社会に恩返しをし、両国間の民間レベルの友好に力を発揮したいという思いを新たにした。

第二部ではチベット族のダンス、誕生日の歌、合唱、古典舞踊、楽器演奏、太極拳が披露された。NPOの長年にわたる文化活動の成果である。彼らのエネルギーなパフォーマンスは、会員の健康と前向きに生きる気持ちを奮い立たせた。

为纪念“日中平和友好条約締結45周年”，NPO 中国帰国者・日中友好之会，依照一贯精神，促进日中两国相互理解和友好，坚持积极开展活动，书写归国者们心系中华东瀛的共同心愿。

八月起，理事会筹备启动，拟定纪念活动内容，会员们以极大热情响应，事務局先后向有关友好团体发出邀请。九月，舞蹈教室、音乐教室、乐器教室、太极拳教室都在各位老师指导下为大会排练节目。十月间确定会议程序、分工。

金秋11月1日午前，北区王子北とびあの13楼会议厅，会场布置井然有序，理事们各负其责，二代年轻人主动前来协助分担工作，演员换上靓丽服装。会场前列十分醒目摆放三个祝贺花篮，分别是由创价学会理事长谷川重夫、株式会社一笑苑佐佐木弘志社长、日本方正总会山本丽波常务会长赠送，给大会增添一份隆重和热烈。

午后一点，大会正式开始。我们十分高兴地迎来350多位朋友和来宾。首先介绍应邀客人，中国驻日大使馆岑松一等秘书官、日中友好协会野田毅会长、公明党参议院西田实仁干事长、公民党太田昭宏常任顾问、还有任职本会理事的小野寺利孝、安原幸彦，米仓洋子、宫腰直子等律师出席了纪念会。首先由本会池田澄江理事长致辞。感谢各位来宾，并向同胞朋友问候。国际形势的发展变化及三年来疫情影响，严峻的现实，深感日中两国和平友好的至关重要。同时回顾作为战后遗孤归国生活状况，郑重感谢众多国会议员在道义上的支持和国赔诉讼原告团辩护律师的鼎力相助。同时，感谢广大日本国民的同情，及社会有识之士在方方面面给予的鼓励和支援。

中国驻日大使馆一等书记官岑松先生带来吴江浩大使的亲切问候，寄予期望中日关系和平友好发展，是维护两国根本利益的重要选择，愿为中日持久和平和世代友好不懈努力。

会议进行中，野田毅先生等几位来宾先后发言，都一致回顾了日中正常化和日中平和友好条約締結的历程和重要历史意义，感同身受。归国同胞通过这次活动将回报社会，促进两国国民民间友好往来发挥了力量。

文艺节目表演了藏族舞、生日歌、合唱、古典舞蹈、乐器演奏、还有太极拳。展示了NPO多年里的文化活动开展成果。发扬正能量，鼓舞会员的健康乐观精神。

会议圆满顺利！

从零开始 学太极

文：卷口 清美

听说 NPO の太极拳班招生，我马上报了名。

说起太极拳，现在所居住的市报上常有招生通知，每每看到，心想以后有了空一定也去学学。没想到机会真来了。辅导老师青木和平也是遗孤的后代，授课时还有几位前辈给做示范动作。

第一节课，老师发了一张“八法五步口诀”，让我们好好领会一下。在日本见到汉字，即使不会读大致能领会到意思。可是忽然见到这满纸汉字的东西，竟然给我蒙住了。棚，掙……，这些怎么读？都是什么意思啊？我情不自禁地说。老师十分惊讶地看着我说：“怎么可能？你在中国没有上过学吗？”

的确，这就是真实的我。我的汉语和日语在别人眼里算上那种不赖层次的了，但是读和写都是我的软肋。

82 年上高一时，我莫名其妙地随父母来到了日本。吃的，用的，穿的，玩的乃至一切事物，都是我来到日本后才第一次见到的。就拿这传统武功——太极拳，也是我在日本的电视机上第一次看到的。这也许与我出生于深山老林有关，或许也因为许多人尚未满足吃穿，还谈什么养生打拳呢，加之文革期间太极拳被当成腐朽文化，使传承断了数年，所以这些也都被我赶上了。

来到日本时我 16 岁，出去干活还早，上私立学校家里还没钱，公立高中不考还进不去。所以给编进了公立中学里。起初自己还给自己下决心，这回可得好好学学。

可进了日本的校门，很快感觉到没一门课我能搞明白。音乐，美术，书法，体育这些课不能说一窍不通，还得需要模仿别人的动作上课。国语，地理，历史，道德课，干脆就是听不懂。最使我失望的竟然那偷学的 50 音图还总弄混。学校也有那么多的规矩，成了我的牢房，不想在那多待上一刻。就这样日本的中学也被我白白地荒废掉了。

一晃来到日本有四十几个年头了，学生时代留下的种种遗憾始终困扰着我。

我梦想着自己学会太极拳，然后在自己住居附近的公园里或许还有日本人也跟着我打，增进与社会的交流，促进身体健康。这样，我又下了一次决心：我要学好太极拳！想着想着，我拿起手机，查出八法的拼音，全上了，棚，掙，挤，按，採，捌，肘，靠，从零开始。

NPO で太極拳教室の募集を知り、早速申し込んだ。

太極拳といえば、市報等で募集見るたび、習ってみたいなと考えたこと幾度もあったが、なかなか行動に移せなかった。なんてよい機会なんだろう。

指導の先生も残留邦人二世、中国語で教えてくれる。しかもレッスンの時、先輩の孤児とその配偶者数名が示範のためにきてくれている。

「八法五歩」。プリントの漢字を見た時、出だしから意味がまったく思い浮かばない。棚，掙，挤……。わたしは、大抵の漢字が読めなくても意味は読み取れるが。

「先生～読み方もわかりませんよ」と思わず言ってしまった。先生は一瞬びっくりされた表情で「中国で学校に行ってなかったの？」と聞かれた。

そうなの。私は学校に行ってなかったわけではないが、無学なのだ。

他人から見れば中国語と日本語は流暢な方だが、読み書きとなれば、どちらも大の苦手。中国と日本、両方の中学校を卒業したのに。

日本に来た時、食べる物、見るもの、着るもの、遊ぶもの、何もかもすべて初めてのもののばかり。太極拳も日本のテレビで見たのが最初だったかもしれない。

私が生まれ育ったのは黒龍江省伊春市という極寒地帯。人々はほとんど移動することなく生活していた。文化大革命の影響で伝統的なものがすべて否定され、太極拳も精神に害を与えるものとして人前でできなかったようだ。

16 歳だった私は、社会人には早すぎるため、中学校に編入された。今度こそ、しっかり学ぼうと一大決心をした。ところが、学校生活も、勉強も何一つ理解できず、周りの真似をするほかなかった。最もショックだったのは、覚えたはずの 50 音図もあやふやで使い物にならなかったのだ。

あれから 40 数年が経った。ふっと、私は日本とのつながりはなにかなと思ったりもする。

私を日本に連れてきた両親は、2020 年、21 年とたてつづきに亡くなった。亡くなる直前まで中国に行きたいと言っていた。日本は、いい国だよ、と私に言い残しながら……。

「さあ、左足を肩幅に開き、真ん中に重心を置いて……」と先生の号令が耳元をかすめる。そうだ！わたしは前へ前へとばかり考えなくてもいいのだ。

2023 年第十五届香港国际武术大会 (エッセイ)

文：青木和平

2023 年第十五届香港国际武术比赛，于 8 月 14 日-8 月 18 日在香港九龍灣国际貿展中心隆重举行成功。来自世界十七个国家和地区的 194 个代表队二千三百名武术太极拳爱好者会聚一堂。最小的只有 2 岁半，最长者是 81 岁。日本有 3 个代表队共计 30 人参加这次比赛大会并且都取得了非常好的成绩。本届大赛以‘弘扬中华文化，促进文明健康’为主题。

天下武林是一家。武术太极拳不分国界早已被溶入到了世界各地。目前全世界有超过 3 亿人在习练太极拳。日本已有 150 万人的武术太极拳爱好者参与在习练太极拳运动中。

武术太极拳是中国优秀传统文化瑰宝之一，其内涵博大精深，丰富多彩。它以强身健体，调整身心，修身养性为目的，被誉为‘中国国粹’。因此越来越为世界人民所喜爱得到了广泛的传播和推广。

我是一个武术太极拳爱好者，十几岁就拜民间拳师习练螳螂拳，查拳，少林弹腿等。1986 年来日本后习练吴式太极拳。2013 年开始习练传统陈式太极拳，师承中国太极名家张东武老师成为入室弟子，陈式太极拳第十三代传承人。

我曾参加过十几届在中国举办的陈式太极拳高级培训班，四次国内外重大国际太极拳比赛（四金四银）。练武经历 50 年，教学资历 10 年。

在海外传播中国传统武术太极文化是我的初心，也是我的使命。希望让更多人感受太极拳的魅力，真正了解体会中国传统武术太极文化的内涵。

我做为一名中国传统太极拳传承人愿意与 NPO 的老一辈和二世，三世一起共同学习，共同交流，共享太极，共享健康。共同促进架起中日友好桥梁与世界深度互动，造福于更多人。

我们一起练习太极吧！健康才是人生最值得自豪的资本！

第 15 回香港国际武术大会は、2023 年 8 月 14 日から 8 月 18 日まで香港の九龍灣国际貿易展示センターで開催され、成功を収めた。世界の 17 の国と地域から 194 チーム、2,300 人の武道や太極拳愛好家が集結した。最年少者はわずか 2 歳半で、最年長者は 81 歳だった。日本からも 3 チーム、合計 30 名が参加しており、どのチームも非常に良い結果を残している。今年のコンテストのメインテーマは「中国文化を広げ、文明健康を促進」だった。

武術としての太極拳は既に国境を越え、世界に広がった。現在、各国で 3 億人以上の人々が太極拳を習っている。日本では、150 万人の太極拳愛好家が練習に励んでいる。

太極拳は中国の伝統文化の 1 つで、その奥深さ、豊かさがよく知られている。体を強くし、体と心のバランスを整えることを目的としている。そのために、世界中の人々に愛されている。

私は太極拳愛好家で、10 代の頃から螳螂拳、查拳、少林弾腿などを習い始めた。1986 年に日本に帰国後、呉式太極拳を修行。2013 年伝統的な陳式太極拳の練習を始め、陳式太極拳の第 13 世代の継承者である有名な中国の太極拳教師である張東武の弟子になりました。

私は中国で十数回の陳式太極拳高等訓練コースを

経て、国内外での 4 つの主要な国際太極拳大会に参加し、計金メダル 4 個、銀メダル個を取った。武術歴 50 年、指導資格を取ってからも 10 年になった。

中国伝統武術である太極拳とそれに関連する文化を海外に広めることは、私の初心であり使命である。より多くの人に太極拳の魅力を感じてもらい、太極拳文化の奥義を理解してもらいたい。

私は太極拳の継承者として、帰国者一世や一般人と太極拳を通じて交流していきたいと考えている。共に中日友好の架け橋となり、中国を始め、世界と深く交流することで、より多くの人々の健康に役立てれば、と思う。

一緒に太極拳をしましょう！健康こそは人の最も価値のあるものです！



太極劍示範中



認定 NPO 法人「中国帰国者・日中友好の会」活動記録（令和 5 年 7 月～令和 5 年 12 月）

- 7 月～12 月 大連外国語大学崔学森教授が研究の為に来所
- 7 月 30 日 黒竜江省社会科学院東亜研究所笄志刚一行が来所
- 8 月～12 月 「読売新聞」の記者片岡航希が取材のために来所
- 8 月 本会の協力で「週刊金曜日」に残留孤児の記事が掲載
- 8 月 「中国語教室」が三年ぶり授業再開
- 9 月 10 日 「チャイナフェスティバル 2023」に、楽器教室と舞踊教室が出演
- 10 月 21 日 公益社団法人日本中国友好協会/一般社団法人日本中国文化交流協会/一般社団法人日中協会/NPO 法人中日学術交流センターが共催の「日中平和友好条約締結 45 周年シンポジウム」に、本会から約 40 名参加
- 11 月 1 日 本会主催の[日中平和友好条約締結 45 周年記念]イベントが行われ、約 350 人が出席

お知らせ

足立区交流会開催

日時：2024 年 2 月 3 日（土）13 時～16 時

場所：梅島地区学習センター

主催：足立区役所

「スマートフォンを使いこなす」教室開設

2024 年 1 月から 毎週第 2, 4 金曜日 10:30～

教師：つくば大学 大学院 張 唯 様

編集委員

白 山 明 徳

河 村 忠 志

張 狄

孙 妮

春 暁

祖父江 安紀子

写真撮影 二田口国博 入澤美和子 石金楷

レイアウト

松本莉恵

正月早々、能登半島で大地震が発生し、津波による被害も発生しました。翌 2 日には、地震の被災地へ向かう海保機と日航機と、羽田空港で衝突炎上する事故があり、海保職員が 5 人殉職した、という災害続きの年始となりました。

被災、亡くなられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

我々帰国者は寄付者を含め、沢山の支援者のおかげでは享受しているこの当たり前な日常を、被災者の方々にも一日も早く取頂きたいと、祈願するとともに、何かを行動を起こすべきではないでしょうか。

♪会報のバック・ナンバーお読みになれます



よろず相談窓口：平日 10:30～16:00

日本語・中国語対応

TEL:03-3835-9357

FAX:03-3835-9358